

資格審査委員の報告

1 労働組合運動は労働者の体験を重んじなければならぬ

2 批評や主張は力三層のみに不拘、即ちこの労働者の批評

3 新著の空氣に引き込まれる事が多い然るは茲に明証あり

4 認識と知識あり心せよ、如何に中傷やレゴありと

5 多くは新著と一途進むに迷まねばあらぬ

6 恒回置は利益以末三つの分岐を見在 矯揉のも拂うた

7 何が爲せば、より進歩するものに矯揉も拂はなければならぬ

8 最も理想、殿堂を築くは恒回置の中空と一途日本の全

9 労働運動の中空とありんこととを希望する。

10